

令和3年度第4回審議会の書面開催での意見等とその回答  
(一般廃棄物処理基本計画)

| 意見等  | 回答   |
|--|--|
| <p>計画書の構成について<br/>食品ロス削減推進法の基本方針は、市町村に対して地域の状況や組成調査を踏まえた食品ロス削減推進計画の策定を求めている。これを受けて、多くの市町村は一般廃棄物処理基本計画の策定にあたり、その章節の1つとして「食品ロス削減推進計画」を盛り込むようにしている。本市の計画書においても、その第1章の中に「西東京市食品ロス削減推進計画」の節を設け、取り組みの方針を示すことが望ましい。</p>                                       | <p>食品ロスは、今後の重要な取り組みのため、計画書案の必要な個所に掲載しました。</p>                                  |
| <p>ごみ排出量目標値の設定について<br/>資料2の表2-14、16、18「目標達成に向けて」のゴシック体「目標」のところ、「家庭ごみ原単位は347g以下を目指します」とあるが、この数値は現行計画で令和3年度未達見込みの目標値である。それを下回るようにしたいとの意で、全国都市の減量上位グループに位置する市の新たな15年計画の目標としては余りにも消極的な印象を受ける。目標値設定の基準としては、できれば、市民・事業者や行政の減量意欲が窺えるようなものにしていただきたい。</p>       | <p>ご指摘をもとに目標値の設定を検討します。<br/>なお、目標値は達成可能なものとし、しっかりとした根拠をもとに決定します。</p>           |
| <p>「説明資料1」を頂いて、内容は、大方把握しましたが、骨子案から素案、最終案に至る際、もう少し分類別にカラーにして頂けるのでしょうか？</p>  | <p>見やすい冊子になるように検討します。</p>  |
| <p>「資料2」（ごみ量推計及び目標値の設定について）も「説明資料2」を頂いていますが、第5回審議会時にEJECの方から改めて数字の説明をして頂きたいと思えます。</p>  | <p>第5回会議にてご説明します。</p>  |
| <p>p. 40～資料の本文第2段落に追加・修正。<br/>図1-26について質問です～（【図1-26表の三市間の負担金の構成比の西東京市の負担割合の推移について計算したところ、平成28年度が47.12%から、次第に年々増大して、令和2年度が54.04%に至っています。このような、負担割合の増大についての理由は何でしょうか。例えば、全体の負担金額が減少している中で、相対的により多くの負担を本市が引き受けているのは、本市の排出するごみの量の相対的比率が増大しているからでしょうか。）</p> | <p>柳泉園組合の負担金は、構成3市で按分する部分があり、当市の搬入量が減少しても、それ以上に構成2市が減量すると負担金は増額になる場合があります。</p> |
| <p>p. 47～資料本文の第4段落にある「逆有償」の意味について質問です。（【小型家電を収集する行政コストを、業者への引き渡し価格と比較したときに赤字になるということでしょうか。】）</p>   | <p>そのとおりです。「有償」「逆有償」は馴染みのない言葉のため、計画素案55ページのコラムで解説を入れました。</p>                   |
| <p>p. 65～図2-1において、図中央の「柳泉園組合資料処理施設」には「汲み取りし尿」から「生し尿」が入ってくるので、処理後に処理水を排出すると思われるので、公共用水域への破線の接続が必要ではないですか。</p>   | <p>柳泉園組合からの処理水は、流域関連公共下水道を通じて清瀬水再生センターで処理されます。</p>                             |

|  |  |
|--|--|
| <p>近年話題になっているプラスチック資源循環や食品ロスにも言及し、その具体的な方策を挙げられているところは、大変良いと思います。とかく計画書が策定をしていく中で時代遅れになってしまうことが多い昨今、新たな取り組みを明記されているところに感銘を受けました。</p>   | <p>現状を踏まえた内容で策定しています。</p>                                      |
| <p>コロナ禍におけるごみ量の急激な変化に対応する推計結果を出されることは大変だったかと存じますが。<br/>しかしそれにより、より現実に即した数字が出てくることになり、計画がより確かなもの、信憑性のあるものになると思われます。迷わず手をかけて確かな推計結果を出してくださったことに、深謝申し上げます。</p>  | <p>実効性のある計画を策定します。</p>   |
| <p>P53の市民・事業者における方策<br/>食品ロスや、食品容器、資源物等について、「市内スーパー」と「市民」と「市」で意見交換会等をする事で、もっと、よりよい改善策の道が見つかるのではないかと思います。</p>   | <p>可能な限り相互に意見等の提供を行い、情報共有することで改善が図れればと考えています。</p>              |
| <p>P55の行政による方策<br/>イベント活動について、興味がない方に興味を持ってもらえるようにするために、市民が普段訪問で何かしら情報発信すると良いのではないかと思います。（例：リビンの2階イベントスペースや駅からの通路等）</p>  | <p>イベントでは周知のためのチラシ・案内文書を配布しています。今後も継続して情報提供していきます。</p>         |
| <p>骨子案P53<br/>委員の意見がコラム形式で回答されており、わかりやすいと思いました。読みやすさも、とても良いと思いました。</p>   | <p>この形式により策定します。</p>   |
| <p>&lt;食品ロスについて&gt;<br/>・賞味期限の長いものについて、フードドライブに出すなど記載がありました。<br/>・生鮮食品、お弁当など賞味期限の短いものについて、あまり記載がなかったように思いました。</p> <p>先日から何度かテレビで見たのですが、東松山市の農作物市場の売れ残った野菜を、西武池袋線の電車に16時頃に乗せて池袋の駅構内で販売（まとめ袋売り500円）。18時30分完売というニュースを何度か見ました。良い取り組みだなと思いました。<br/>西東京市内には西武線の駅が5つもあることを思うと、夕方売れ残りになりそうなものを、近隣の駅周辺で（改札近くで）販売スペースを取れないか、生野菜やお弁当などのロスが少しでも減らないかと思えます。</p> | <p>計画案に掲載のとおり、市としてフードドライブ等に取り組むとともに、事業者へも働きかけができればと考えています。</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>&lt;事業系ごみについて&gt;<br/> 事業者の役割の中に「事業者は自らゴミを適正に処理・処分することが原則である」とあります。大企業であれば委託業者があり、適正に処理されているようですが、自宅兼店舗のところなどは、ゴミは一般ゴミとして処理されていることが以前の会議で分かりました。<br/> しかし、やはりそこは「けじめ」と言うか、市としても任意にまかせっぱなしにしておくのは、いかなものかなと思います。<br/> 小規模店舗などの場合で、一般のゴミと一緒に日に出して良いと思いますが、袋は事業者用のものとして袋の色を変えるなどして、事業用と個人宅用とは分けていることがわかるようにしてはどうかと思います。<br/> 事業者としての「けじめ」「きちんと感」、西東京市としてのゴミ分別指導の行き届きが示せるのではないのでしょうか。何より一般市民の不公平感が拭えるように思います。</p> | <p>商工会を通じて、ごみの出し方や減量・資源化方法について、事業者向け手引きを活用しながら周知を図っていきます。</p>            |
| <p>&lt;ごみ量推計及び目標値の設定について&gt;<br/> 令和2年が、コロナの影響で突出しているとあります。<br/> アフターコロナでなく、ウィズコロナの場合、断捨離など行う人がまだしばらく続くのではないかと、令和2年は特別…というのは、現段階でということかもしれませんね。</p>   | <p>令和2年度の新型コロナの影響を受けたごみ量の傾向も踏まえながら、推計します。</p>                            |
| <p>一般廃棄、災害廃棄と直結するような、しないようなことですが、いわゆる「ゴミ屋敷」というのは西東京市には存在するのでしょうか。それらはこの会が関係するのでしょうか。</p>  | <p>ゴミ屋敷は存在いたしますが、相談内容により担当部署が異なります。個別の相談となりますので、審議会での公の議論は現状ではありません。</p> |
| <p>プラスチックの資源循環について<br/> ◎レジ袋の有料化によりエコバック普及率が上がっています。更なるモチベーションを上げるには何かインセンティブを考える方法もあると思います。<br/> ◎梱包材も発泡スチロールから段ボールに大分変って来ている・・・製造業も積極的に対応して来っています。</p>  | <p>4Rの推進につながるよう、今後も効果的な方法を検討します。</p>                                     |
| <p>学校における環境学習について<br/> 現在でも出前講座を小中学校での環境学習として実施しておられることを、この度初めて知りました。これは非常に効果的だと思います。<br/> 出来れば教育委員会との調整によりカリキュラムに組み入れてもらうと効果は更に大きいと思います。（西東京市は27校あります）</p>   | <p>子育てや教育部門とも連携を検討します。</p>   |
| <p>リユース品について<br/> 『0円均一』段ボール箱などは非常に効果的で素晴らしい発想だと思います。</p>   | <p>今後も市民の役に立つ取り組みを情報提供します。</p>   |

令和3年度第4回審議会の書面開催での意見等とその回答  
(災害廃棄物処理計画)

| 意見等   | 回答   |
|---|--|
| p. 24～表3-1 1に浸水深50cm以上の家屋棟数について、地上50cmに満たなくても、床上浸水の場合はすべて被害件数に入るということでよろしいでしょうか。  | 地上50cm以上を床上浸水としていますので、地上50cm未満は被害件数に入りません。 |
| p. 31～表4-1の表記で、一次仮置場の欄の中に、「庁内関係所管課」とありますが、この「庁」という指摘は、具体的には何処の「庁」をさしているのでしょうか。  | 「庁内」とは、西東京市の内部を意味します。                      |
| p. 64～図6-1において、第2段落のところの家庭からの簡易トイレの排出物は、薬剤で固めて出すのでしょうか。   | そのとおりです。                                   |
| p. 66～質問①本文第2段落、「下水道等・・・使用できなくなる。」→生活排水も行政で回収してくれるのでしょうか。   | 担当課の対応となります。                               |
| P64 簡易トイレの収集運搬に関しましては、とても重要な点を明記していただけたと思いました。私もそこまで考えが至っていなかったのですが、公道へ汚物が流れ出てしまう危険性があるのは、まさに書かれている通りです。このように注意喚起いただいていることは市民にとってもとてもありがたいことだと思います。   | 公道への流失が想定されるため、平ボディ車とダンプ車での対応に変更しました。      |
| P68 仮設トイレの必要基数の推計については、積算を見直してくださり、ありがとうございます。特に、仮設トイレ必要人数を国の基準でなく、西東京市地域防災計画に基づき、1基につき50名としたのは英断かと思います。もちろん、足りる足りないということは別問題としてありますが、まずは現実に即した数字を出した中で、どうしたら良いのかを市民も一緒になって引き続き考えていけたら良いと思いました。 | ご指摘内容を反映しました。                              |
| 「富士山噴火」について<br>富士山噴火について災害に含まれるのか気になっていたもので、記載されると聞き安心しました。灰の処理について、経験がない方が多数ではないかと思っておりますので、灰の扱い方・処理の仕方・注意点等、できるだけ詳しく記載してもらえると助かります。今回の処理計画に載せる内容でなければ、別途、情報発信していただきたいです。                      | 灰の処理等は、計画書には掲載せず、その他の方法で周知を検討します。          |
| P75の広報・啓発手段について<br>アナログ媒体の「掲示板」ですが、どこに掲示板があるのかわからないので、貼り出す予定の掲示板の場所がわかる地図がほしいと思いました。発災時、どのような状態になるかわからないので、すべての掲示板に貼り出すことはできないことは承知していますが、まずは貼り出す予定の主な掲示板だけでもわかれば、確認に行く目安になるかと思いました。            | 担当課の対応となります。                               |

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| <p>暫定版P20<br/>色分けをされた地図があるが具体的に何ほどの程度浸水の被害があるのか分かりません。この地図を見た限りでは市内の多くの場所で風水害の被害がでることが予想されます。0.1～0.5mの浸水であっても災害ごみがたくさんでることを予想し、それを運び出すとなると細かく仮置き場が必要なのではないかと感じました。<br/>そこで、災害処理計画書には都市公園や市所有の緑地、児童公園などが仮置き場になる可能性があるということを予め記しておいても良いのではないかと考えました。平時に周知しておき、必要な時にはすぐに使える準備が必要なのではないかと思いました。</p> | <p>仮置き場の示し方については、検討します。</p> |
| <p>富士山噴火の追記、承知しました。<br/>仮設ゴミ置き場の場所の確保が問題となっています。加えて昨今、避難時に、車中泊の推進もされているようで、より広大な場所がたくさん必要となるようです。</p>   | <p>ご意見を参考にします。</p>          |
| <p>P-69 仮設トイレ等の備蓄状況について<br/>基本的には全数組立確認が必要です。特にマンホールトイレはマンホールの手配とテントの手配が別の部署でサイズが合わないものがあると聞いたことがある（マンホールの間隔が短くてテントが設置出来ない）、またマンホールの形もまちまちで開閉用治工具も異なります。災害が発生する前に確認しておかなければならないと思います。</p>   | <p>担当課の対応となります。</p>         |
| <p>P-70 仮設トイレ等の備蓄状況について<br/>表 6-11 男性用小便器のみの仮設トイレを設置します。<br/>具体的に設置場所と数量を決めておく必要があります。発災してからでは混乱します。</p>  | <p>担当課の対応となります。</p>         |

令和3年度第4回審議会の書面開催での意見等とその回答  
(市政モニター)

| 意見等  | 回答  |
|--|---|
| <p>「西東京市市政モニター」の調査結果は大変参考になりました。只「一人暮らし」の比率が低く「一人暮らし」の方だけの結果も掲載してほしかったです。<br/>問23 (P26) の「環境美化活動」に関しては、半数の方が知らないと回答され認知度低く残念です。市民の方々にどの位認知して頂けるかが、今後の課題かと思えます。</p>   | <p>今回の計画案のとおり情報提供に努めます。</p>   |
| <p>前回、生ゴミの堆肥化→使い道について、またリサイクルされればゴミも減り、環境にも優しいのではないかという意見が出されました。<br/>P8.の結果をみると堆肥化を実際に行っている方が2.4%ととても低い数字でした。しかし、逆に考えると個人的に挑戦するのは難しい堆肥化を2.4%もしているとも考えられると思いました。<br/>市民の方に浸透させていくのはなかなか難しいかもしれませんが、学校やエコプラザの講座などで環境学習や啓発運動の一環として取り入れていくのも良いのではないかなと感じました。<br/>小さな頃に体験したことや感じたことが未来に繋がっていくのではないかと思います。</p>      | <p>今回の計画案のとおり情報提供に努めます。</p>   |
| <p>(問5) で特に意識しているのは「分別を徹底する」<br/>・(問8) での1位は、分別の方法が分かりづらいとあるのを見ると、やろうとしているがやり方が分かりにくいということならば、わかりやすい情報を提供することの必要性を感じました。</p>   | <p>今回の計画案のとおり情報提供に努めます。</p>   |
| <p>・(問9) の分別の情報では、ゴミカレンダーを多くの人が見ているということ。<br/>カレンダーに分別の仕方のページに工夫が必要だと思います。<br/>この数年掲載されている写真入りのものは、経過年数により大体分かってきているかと思えます。<br/>最近、迷いが多発しているもの、ストローやワンウェイプラスチックスプーンなどの分別などに変えるなど、目先を変えてみてはどうかと思えます。<br/>「ゴミ分別辞典(五十音順)」もカレンダーとともに一冊に組み込めたらどうかと思えます。<br/>また、資源ごみの袋にピクトグラム化した、「ストロー×」「スプーン×」など表示をしてはどうかと思えます。</p> | <p>以前には分別の冊子を配布していましたが、内容の変更にもすぐに対応できる市ホームページやアプリに移行しました。<br/>問い合わせの多い物は、可能な限り「ごみ・資源物収集カレンダー」に掲載するようにしています。</p> |
| <p>市政モニター調査結果P—21/27 ゴミの分別について<br/>「缶はつぶして出して良いのか、つぶさない方が良いかわからない」との意見があります。<br/>私はつぶさないで出すのが正しいと理解しています。理由は缶をスクラップとして出荷するのにプレスで纏めて成形するのに缶どうしがかみ合ってバラバラにならないため。<br/>『西東京市E C O 羅針盤』等で繰り返し説明していただくと良いと思えます。</p>   | <p>市の広報誌等により継続的に情報提供します。</p>  |